

Ⅲ 協働推進基本計画

1. 協働の基本的考え方

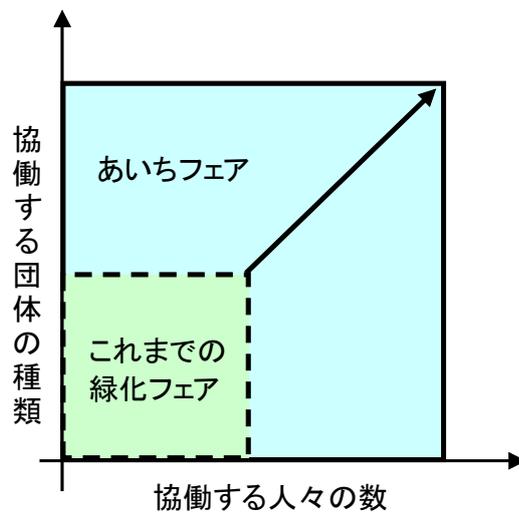
1-1. 協働と参加の考え方

- 基本構想に基づき、あいちフェアにおいては、あいちの協働の仕組みを活かして、あいちフェアの準備段階から協働してもらえる人々を広く募り、フェア開催時には、多様な主体が参加できる場を数多く提供することとする。
- それら準備段階の協働及び、フェア開催時における参加を通して、幅広い県民の参加によるフェア効果の波及と担い手づくりにつなげることを目指す。

協働:あいちフェアを一緒につくりあげ、来場者に提供する
参加:フェアに来場し、学び、楽しむ。

1-2. 協働の展開

- 協働を進める上では花や緑は、人と人、人と社会を結ぶ「つなぎ手」であることから、花・緑を介した協働の勧奨、発展を目指す。
- これまでの緑化フェアでも、県民、NPO、企業、市町村などとの協働は行われてきたが、あいちフェアでは、さらに協働する人々の多様化・拡大を図る。



図Ⅲ-1 あいちフェアの協働の目標イメージ

・以上をふまえ、あいちフェアの協働は、以下の基本方針に基づき、展開を図る。

「緑はつなぎ手」として、協働する人々の多様化・拡大を図る

異分野交流の推進

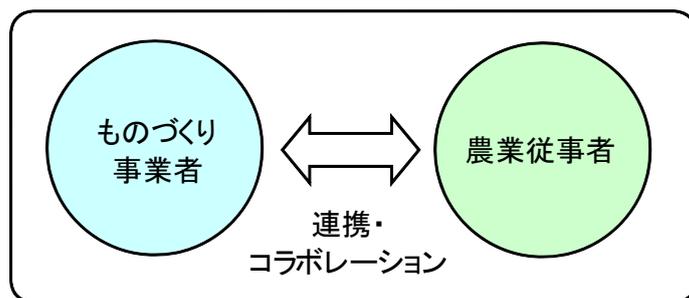
多様な協働スタイルの提供

協働しやすい環境づくり

・あいちフェアは協働を基本として進めるため、基本計画立案後に、協働者を含めた実施計画の検討を行うことから、基本計画の内容は確定したものではなく、今後の実施計画等を踏まえ、調整可能なものとする。

(1) 異分野交流の推進

- ・モノづくり県としてのさらなる発展のために、あいちフェアが異分野交流のきっかけとなることをめざし、他分野との交流による協働を推奨する。
- ・自動車製造企業と花卉産業、緑化企業とアーティストなど、異分野交流による協働を促す。



図Ⅲ-2 異分野交流イメージ

(2) 多様な協働スタイルの提供

- ・協働しやすい仕組みとして、会場づくり、行催事、会場運営、観客誘致に関わる多様な協働スタイルを提供する。

表Ⅲ-1 協働スタイルの例

協働分野	協働の段階	協働スタイル
会場づくり	計画段階	・展示の企画・計画 等
	整備段階	・展示整備 等
行催事	計画・準備段階	・行催事の企画・計画 ・行催事準備 等
	フェア期間中	・行催事の実施 等
会場運営	準備段階	・フェア期間前サービスボランティア(問い合わせ対応等) ・会場運営に関わる研修
	フェア期間中	・会場サービスボランティア(案内、施設貸出、迷子案内、遺失物対応、身障者対応 等) ・会場管理ボランティア(会場整理・誘導、清掃 等)
観客誘致	準備段階	・HPのリンク ・プレイベント企画、協働 ・広報局運用(ボランティア参画) 等
	フェア期間中	・HPのリンク ・広報局運用(ボランティア参画) 等

(3) 協働しやすい環境づくり

- ・展示や行催事開催にあたって、限られた予算でより大きな魅力を発信するために、協働する団体の参画を得られやすい環境づくりを検討する。

2. 協働推進の基本的考え方

2-1. 協働する主体への勧奨方針

- ・「緑はつなぎ手」として、協働する人々の多様化・拡大を図るため、以下の2つの方法で、勧奨を進めることを基本とする。

広く公募する

- ・協働の多様化・拡大を図るために、広く公募し、呼びかけを行い、多種多様な主体による協働を目指す。

勧奨に力を入れる

- ・愛知万博、COP10 等のこれまで様々な経験を有する主体に対して、積極的に呼びかけを行い、あいちフェアを作り上げるための協働を進めていくことを基本とする。

表Ⅲ-2 協働対象と勧奨方針の例

協働対象	勧奨方針	
	広く公募する	勧奨に力を入れる
NPO・民間団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、老人会等 ・NPO 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体等 【例】 ・愛知万博の理念を継承した団体 ・COP10 関連団体 ・自然環境保全、花や緑のまちづくり団体 ・福祉団体、育児支援団体 ・健康づくり、スポーツ振興団体 ・芸術振興、伝統文化継承団体 等 ・公園マネジメント会議の参加団体、その他管理運営に関わる団体
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園 ・小中学校 ・高校、大学 ・各種学校等 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動等に取り組む学校 ・造園や芸術系の大学・専門学校 等
花卉・緑化関連団体	—	<ul style="list-style-type: none"> ・花卉生産団体 ・緑化資材を取り扱う企業 ・造園業者 等
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・CSR活動に興味を持っている企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知万博の理念を継承して取り組んでいる企業
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・他都道府県 ・政令市 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県関係課 ・市町村

2-2. 協働を推進するための展開

- ・フェアへの協働団体の募集にあたっては、都市緑化の推進とフェアへの認識を兼ねて、花鉢や花の種等にメッセージを添えて贈るキャンペーンの展開を検討する。

【展開例】

<協賛企業誘致のためのキャンペーン>

- ・企業に協力を求める際に、花鉢等に協賛募集のメッセージを沿えて贈る。
- ・企業内で花が飾られることで、フェアの認知度を高める。

<花の種とともに県民へ送るメッセージ>

- ・小中学校等を対象に、開催案内を添付した花の種を、チラシの代わりに配布する。

2-3. 協働主体の意欲向上

- ・あいちフェアの協働に参画することで、協働主体には、今後の活動や事業の発展につながる交流が生まれることが期待できる。
- ・しっかりとした学習システムを整えることで、ボランティア等の知識や技術向上が可能な協働体制を整えることを検討する。

【展開例】

異分野交流を進めるインセンティブ

- ・コンテスト参加条件に他の主体(分野)との連携・コラボレーションを必須とする、また連携・コラボレーションを企画している主体(企業と農家、老人会と子供会等)にはインセンティブを与えるような仕組みづくり(コンテストの際の追加点の付加等)を検討する。

企業や商品のPR

- ・各エリアの一角に儲ける営業参加エリアに、人々がくつろげる花と緑の空間を設け、ゆったりと座ってお茶が飲める空間を協働で作り上げ、花と緑のあるライフスタイルを提案する。同時にその花や緑、くつろげる椅子やテーブル、飲料や食べ物などの商品をアピールする場として活用することを検討する。

2-4. 既存の協働主体との連携

(1) 既存イベントの活用

- ・行催事等の展開にあたっては、愛・地球博記念公園で実施されている既存イベント等をフェア期間中もできるだけ開催できるよう調整する。

(2) 指定管理者との連携

- ・愛・地球博記念公園の指定管理者と連携することにより、効率的・効果的な運営管理を行う。

(3) 公園マネジメント会議、その他管理運営に関わる団体との連携

- ・あいちフェアの協働・参加の検討を行うに当たり、その中心となると考えられる、「愛・地球博記念公園」の公園マネジメント会議及びサトラボ開拓団についてのヒアリング調査を行った。
- ・また、公園マネジメント会議の所属メンバー団体等に対してワークショップ(意向確認調査)を行った。
- ・その結果、展示、行催事、運営、広報の各分野で協働意向のあることを確認したため、今後公園マネジメント会議及びサトラボ開拓団等との連携を行えるよう調整する。

表Ⅲ-3 ヒアリング調査概要

ヒアリング対象	ヒアリング内容等	実施日時	場所
愛知県建設部 公園緑地課	公園マネジメント会議と の協働可能性について	平成 25 年 7 月 10 日(水) 10:00 ~ 12:00	愛知県建設部 公園緑地課
尾張建設事務所	あいちサトラボとサトラ ボ開拓団について	平成 25 年 7 月 12 日(金) 10:00 ~ 11:45	尾張建設事務 所

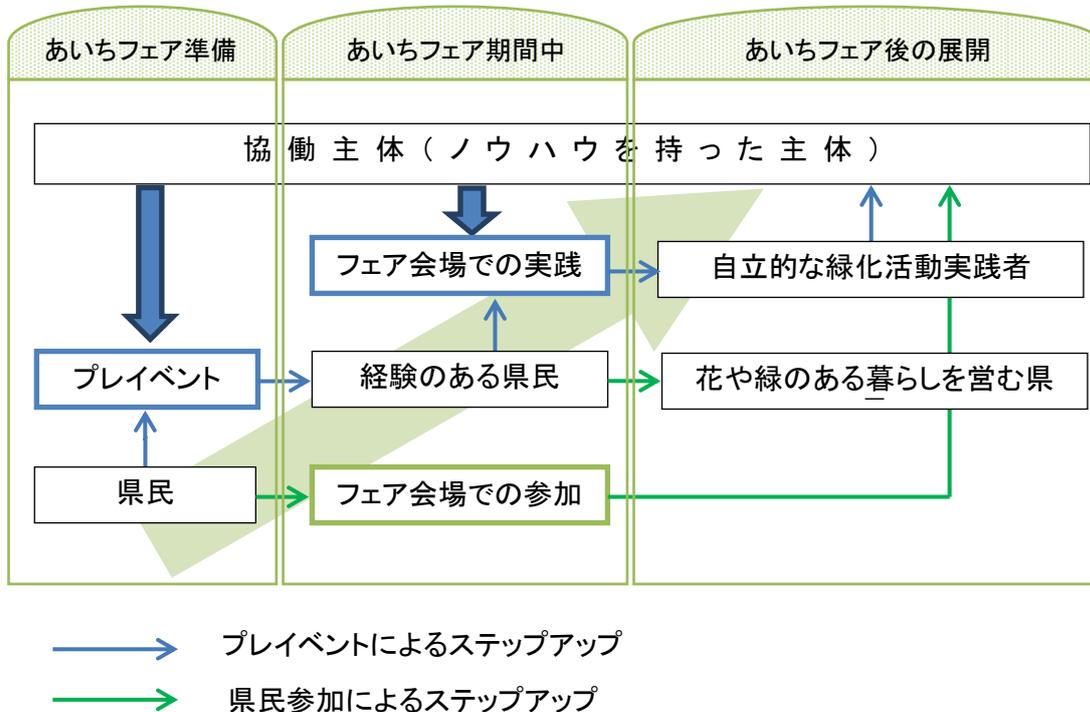
表Ⅲ-4 ワークショップ(意向確認調査)実施概要

調査方法	アンケート方式	
回答期限	平成25年8月16日(金)	
調査説明 会の開催	日時	平成25年7月31日(水)10時、15時の2回
	場所	愛・地球博記念公園地球市民交流センター 体験学習室3

3. 担い手づくり

協働に基づく行催事を通じた担い手づくり

- ・行催事の実施における協働では、フェア開催後も持続的に都市緑化を推進する担い手を育成するため、ノウハウを持った協働主体が中心となって、自立的な緑化活動に必要な技術や手法を学ぶ実践的なプログラムの展開を基本とする。
- ・そのため、プレイベントと県民・各種団体等と協働で行う行催事を中心に、参加者が徐々に担い手へとステップアップしていくことを想定した、プログラムを提供することを検討する。



図Ⅲ-3 担い手づくり協働イメージ

連続性のあるプログラムの提供

- ・プログラム参加者の知識と技術の向上に資するため、一週間単位のテーマを決めて段階的なステップアッププログラム等を提供することを検討する。

表Ⅲ-5 テーマに応じたステップアッププログラムイメージ

行催事区分	曜日	月	火	水	木	金	土	日
休日催事—平日連携型	講座・教室タイプ					→	成果発表	
平日催事		基礎編		応用編		発表練習		
休日催事—平日連携型	ものづくりタイプ					→	展覧会	
平日催事		設計図・パーツづくり			組み立て			

4. 事業スケジュールの検討

- ・協働推進に関する事業は以下のように推進することを検討する。

表Ⅲ－6 協働推進事業スケジュール検討(案)

時期	主な業務等
平成25年度	・協働推進実施計画の策定 等
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協働実施運営体制構築(募集・選定・調整) ・NPO、民間団体、各種団体の協働主体の募集、及び企画、設計、施工、運営 ・各種学校の勸奨、募集及び企画、設計、施工、運営 ・県内市町村の勸奨、募集及び企画、設計、施工、運営 ・他県・政令市等の勸奨、募集及び企画、設計、施工、運営 ・ボランティアの募集、教育、活動開始 等
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協働実施体制の運営(調整・運営等) ・NPO、民間団体、各種団体の協働主体の設計、施工、運営 ・各種学校の設計、施工、運営 ・県内市町村の設計、施工、運営 ・他県・政令市等の設計、施工、運営 ・ボランティアの教育、活動 等